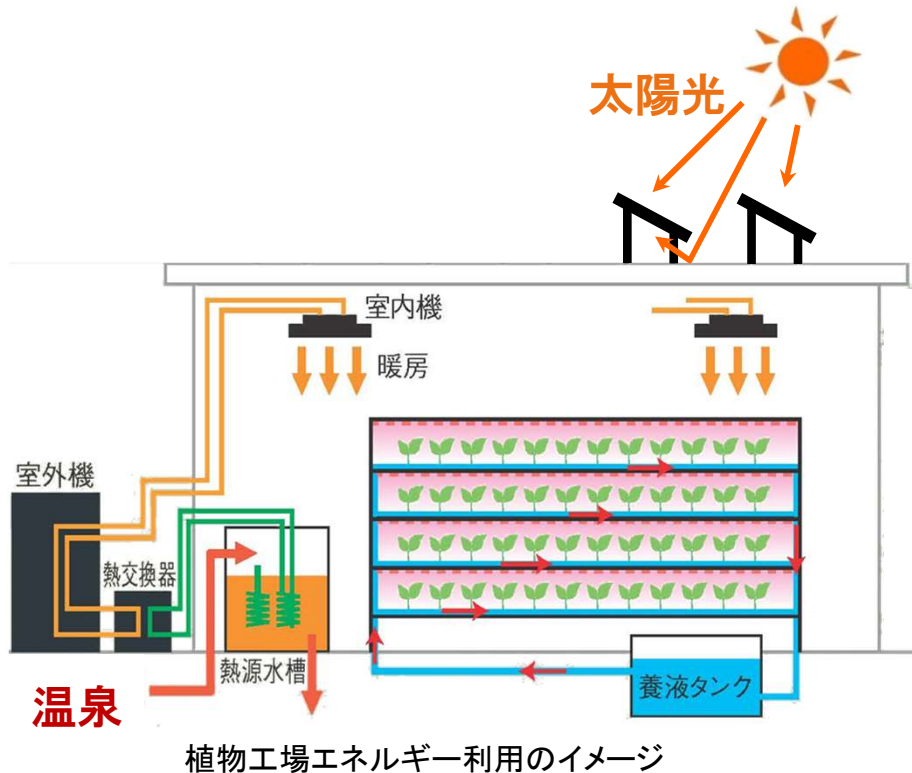


太陽光発電等を活用した植物工場を拠点に6次産業化の推進



<概要>

- ・ 施設の名称 : 牛岳温泉植物工場 (富山県富山市山田地域)
- ・ 事業実施主体 : 富山市
- ・ 管理主体 : (株)健菜堂 (6次産業化認定事業者)
- ・ 発電出力 : 約20kW (両面受光型太陽光パネル60枚を植物工場の屋上に設置)
- ・ 発電電力量 : 約16,000kWh (見込み)
- ・ 総事業費 : 約3億5千万円
(うち太陽光発電設備分約1,700万円)
- ・ 運転開始時期 : 平成26年4月

<特徴>

- ・ 富山市は、高齢化や過疎化が進む山田地域の活性化を図るため、地元温泉の温泉熱や太陽光発電を活用する完全人工光型植物工場を整備。
- ・ 発電した電気は、植物工場のLED照明等に利用。これにより、年間約30万円の電気代を削減。また、隣接する温泉から供給される温泉水の排熱を工場内の空調(暖房)に活用し、空調に要する経費を35%削減。
- ・ 植物工場では、市が特産化を目指す薬用植物「エゴマ」を栽培。植物工場を拠点に、生産、加工、流通販売、研究などに関わる企業・団体・個人などで構成する「エゴマ6次産業化推進グループ」が地域をあげて「エゴマ」を活用した6次産業化を推進。



植物工場の屋上に設置された太陽光パネル



植物工場内の様子
(エゴマを栽培)